

平成29年度 地域連携活動報告書

連携先名称	大分県杵築市	担当教員	地域創成科学科 宮林茂幸
活動状況	継続中	関連教員	農山村支援センター
協定締結日	平成29年11月20日	活動資金	補助金
活動内容	<p>農山村支援センターでは、農林水産省補助金「山村活性化交付金事業」の交付申請等をサポートして資金を確保。同事業を活用して、大分県が日本一の生産量を誇る、原木乾燥シイタケを利用した新商品の開発を行った。</p> <p>現在はそれに続き、地域の特産品である米の付加価値化や、未利用資源である野草を活用した商品の開発を進めている。農山村支援センターでは、農林水産省補助金「山村活性化交付金事業」の交付申請等をサポートして資金を確保。同事業を活用して、大分県が日本一の生産量を誇る、原木乾燥シイタケを利用した新商品の開発を行った。</p> <p>現在はそれに続き、地域の特産品である米の付加価値化や、未利用資源である野草を活用した商品の開発を進めている。</p>		
活動成果	<p>原木乾燥シイタケを利用した取り組みでは、一般的な機械乾燥シイタケに比べ栄養価（ビタミンD量）が高い乾燥シイタケを製造し、「カンカンしいたけ」として商品化した。また、これをパウダーにしたものを「カンカンしいたけパウダー」として販売した。</p> <p>地元の加工グループが、このパウダーを利用した商品を開発し、農地利用組合婦人部が「カンカンしいたけパンケーキミックス」、農協婦人部が「カンカンしいたけ・みそ玉パワー」を製造販売している。また、隣の市である大分県別府市にある食品製造業者「南光物産」に製造委託し、パウダーを利用した「カンカンしいたけせんべい」も販売した。</p> <p>これらの商品は、地元の新聞やテレビ局で取り上げられ、2018年は農林水産省、林野庁などが主催する「みどりの感謝祭」（2018年日比谷公園開催）での料理イベント「森の食材×ミス日本の美人食コラボ」としてステージで料理実演と紹介がされた。</p> <p>カンカンしいたけとパウダーは、農大生協で継続的に販売されている。</p> <p>米の付加価値化と、野草を用いた商品開発の取り組みでは、地域住民の関心が高まり、現在、野草についての研究会が月2回開催されているほか、新しいパッケージの検討、野草の栽培などが進められている。</p>		
課題・改善点	<p>今後は販路開拓へとつなげるためのPRが課題。見本市などへの出店、営業、情報発信などの広報活動の展開と、そのための体制づくりが必要である。</p>		